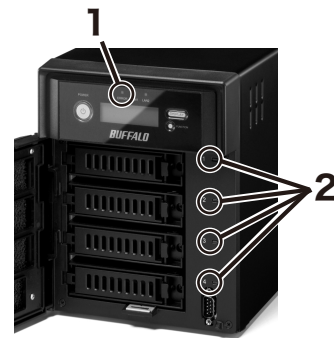
BUFFALO 35020092-01

ハードディスク交換手順

TeraStation内蔵のハードディスクが故障すると

ハードディスクが故障すると次のようにランプが点灯または点滅します。ハードディスクを交換する前に必ずご確認ください。ステータスランプは前面カバーをあけると確認することができます。

1. ERRORランプ　赤色点灯：TeraStation内蔵のハードディスクが故障しています。
2. ステータスランプ　赤色点灯：点灯している番号のハードディスクが故障しています。

※Dashboardで取り外し処理をしていないハードディスクは、TeraStationの電源がONの状態で絶対に取り外さないでください。取り外した場合、データの消失およびTeraStationが故障する恐れがあります。
※TeraStation本体の電源がOFFの状態のときは、ハードディスクの電源もOFFになっています(交換できます)。
※本体の電源がONの状態でハードディスクを抜き差しすることを「ホットスワップ」と呼んでいます。
※本書では、TeraStation WSSをTeraStationと表記しています。

前面カバーをあけた図

ハードディスクの交換手順例

⚠注意
- TeraStationは精密な機器です。落としたり衝撃を与えたりしないよう慎重に作業を行ってください。
- TeraStationを落としてけがすることがないよう慎重に作業を行ってください。
- TeraStation内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行ってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。TeraStationの分解によって生じた故障や破損は、当社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- ハードディスクの交換には、別売の当社製ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。
- すでに他のTeraStation/LinkStationやコンピューター等で使用したことがあるハードディスクと交換しないでください。交換した場合、本製品のデータを破損・消失する恐れがあります。本製品対応の交換用ハードディスクは「OP-HDシリーズ」です。
- ハードディスクの順番を入れ替えないでください。順番を変更した場合、本製品のデータを破損・消失する恐れがあります。
  例）4台中1番上にあるハードディスクを抜き出し、2番目にあるハードディスクと差し替えるなど。
- 起動ドライブ(C:)は1番上にあるハードディスクと2番目にあるハードディスクでRAID1に構成されています。これらを一度に交換しないでください。
- ファイルの保存中にハードディスクを交換するとファイルが破損する恐れがあります。必ず作業中のファイルは保存を完了してから作業してください。

手順1～6はTeraStationの電源がONのままハードディスクを交換するための手順です。
TeraStationの電源をOFFにしている場合は、本紙うら面手順7から行ってください。

1 NAS Navigator2を起動します。
※Windows では、デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
※Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] アイコンをクリックします。

2 NAS Navigator2のメイン画面に表示されているTeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[リモートデスクトップを開く]をクリックします。
※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[リモートデスクトップを開く]をクリックします。

パソコンの画面

3 表示された画面に、ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]をクリックします。
※出荷時設定では、次のようになっています。
ユーザー名：Administrator
パスワード：password

パソコンの画面

リモートデスクトップの画面内でWindows Storage Serverが起動します。

4 リモートデスクトップの画面内でタスクトレイの アイコンをダブルクリックし、Dashboardを起動します。

5 [ディスクの取り外し]をクリックします。
故障したハードディスクをチェックし、[OK]をクリックします。
※故障しているハードディスク番号のステータスランプは赤く点灯しています。

※画面はドライブ3を取り外す例です。

ステータスランプ1～4

6 「ディスクの取り外しが完了しました」と表示されたら[OK]をクリックします。

>>うら面に続く

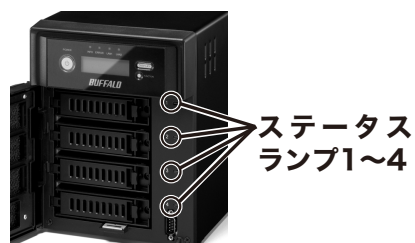
ハードディスクの交換手順例

>>おもて面からの続き

7 付属の鍵で前面カバーを開きます。

8 ステータスランプが赤色に点灯しているハードディスクカートリッジのつまみを左方向に押しながら手前へ引きます。

※写真はドライブ3を取り外す例です。

ステータスランプ1～4

Dashboardでディスクの取り外し処理を行っていないハードディスクは電源がONになっています。抜かないでください。データの消失、TeraStationが故障する恐れがあります。

9 カートリッジごとハードディスクを手前に引き出し、取り外します。

10 別売のカートリッジ付ハードディスクOP-HDシリーズを手順3で取り外したトレーに差し込みます。

11 カチンと音がするまでつまみを押さえます。

12 前面カバーを閉じ、付属の鍵で固定します。

※TeraStationの電源がOFFの状態でハードディスクを交換した場合は、TeraStationの電源スイッチを押して電源をONにしてください。

13

Dashboard の [ディスク]-[状態] が「情報取得中･･･」と表示されます。

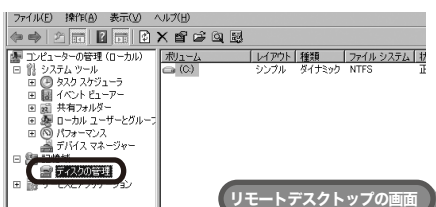
※TeraStationの電源がOFFの状態でハードディスクを交換した場合は、おもて面の1～4の手順でDashboardを起動します。

14

しばらくすると、[ディスク]-[状態] が「正常」と表示されます。

※ハードディスク交換後、5分待っても「情報取得中・・・」のままの場合は、[ディスクの再認識]をクリックしてください。ハードディスクが再認識されます。

15 リモートデスクトップの画面内、[スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[コンピューターの管理]をクリックします。

16

[ディスクの管理]をクリックします。

17

交換したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから[ディスクの初期化]を選択します。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

18 初期化したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから[ダイナミックディスクに変換]を選択します。

※ダイナミックディスクに変換しない場合、RAIDを構成することはできません。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

19 **新しいボリュームを作成するときは**

ダイナミックディスクに変換したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから新しいボリュームを選択します。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

RAID5ボリュームの修復(RAID再同期)を行うときは

① 「冗長の失敗」と表示されているボリュームを右クリックし、表示されたメニューから[ボリュームの修復]をクリックします。

② 「次の一覧からディスクを選択してください」と表示されたら、修復するディスクを選択し、[OK]をクリックします。

※RAIDの再同期を行うボリュームの数だけ①～②を行う必要があります。

③ 「不足」と表示されたボリュームを右クリックし、表示されたメニューから[ディスクの削除]をクリックします。

ミラーボリュームの修復(RAID再同期)を行うときは

① 「冗長の失敗」と表示されているボリュームを右クリックし、表示されたメニューから[ミラーの削除]をクリックします。

② 「ミラーの削除」と表示されたら、ミラーを削除するディスク(不足)を選択し、[OK]をクリックします。

※ミラーの再同期を行うボリュームの数だけ①～②を行う必要があります。

③ ミラーリングを行うボリュームを選択し、[ミラーの追加]を選択します。

④ 「ミラーの追加」と表示されたら、選択したボリュームとミラーリングを行うディスクを選択し、[ミラーの追加]をクリックします。

⑤ 「ディスクの管理」と表示されたら、[はい]をクリックします。

以上でハードディスクの交換は完了です。